

「いのちのせんせい」派遣事業

心と命をいつくしむ道德

生きることの意味や大切さを児童生徒が実感できる道德教育を充実させるため、常に「生」や「死」に直面し、「命」と向き合いながら仕事をしている方々を「いのちのせんせい」として小中学校に派遣しています。

講師の方々には、自分の体験を通して生きることの意味や命を大切にすることを育むこと等を話していただいています。

また、近年は道德教育だけでなく、職業について学ぶ機会にもなり、キャリア教育にもつながっています。

この事業を通して、子どもたちが命だけでなく、自分自身や周囲の人々について考える機会になることを願っています。



派遣している
「いのちのせんせい」

- 助産師
- 介護福祉士
- 手話通訳士
- 消防職員(救急救命士)
- 獣医師
- 原爆語り部